

活動報告

令和2年7月～令和3年1月

末吉の活動は地元の方々や
関係各位のご尽力により
支えられております



令和2年度会長
雨宮真吾議員（成田市）

関東若手市議会議員の会 顧問に就任



全国若手市議会議員の会総会・研修



老朽化した染田公民館のエアコン改修



老朽化した福富公園の園路等改修



大学生インターン（2期）受け入れ

期日前投票所を商業施設に設置

選挙における投票率低下を改善するため、各地で導入が進んでいるのが「商業施設への期日前投票所の設置」です。スーパーや百貨店は日頃から多くの市民が訪れるため、買い物帰りに投票をしたり、投票に行く動機づけになったりと高い効果が期待されています。足利市の期日前投票所は18ヶ所（公民館など公共施設）あり、佐野市や栃木市よりもかかわらず、期日前投票率が低い傾向にあります。また、商業施設への設置が進んでいる栃木市等は投票率が改善した実績もあります。議会でも多くの議員が取り上げ、私自身も3度にわたり一般質問をして参りました。その結果、令和2年栃木県知事選挙より市内で初めての設置が実現し、投票率改善に一定の効果を上げました。



▲詳細

高齢者生活応援ガイドが完成

高齢化率が32.1%（令和2年）と、全国平均より高い足利市では、高齢者が抱える悩みも多様化し増加しています。現場のケアマネジャー、民生委員等の方々は業務に追われ、十分な対応ができなくなっています。そこで「高齢者が必要とするサービスや、行政の相談窓口をまとめた冊子が必要」と一般質問で提言させていただきました。その結果、令和2年4月に冊子を1000部作成していただき、相談や介護にあたる方々に配布されました。今後は高齢者世帯に全戸配布できるよう、提言を続けていきます。



実現しました

QRコード
▲詳細

染田地区に自主避難所2カ所追加

令和元年東日本台風では指定避難所（学校等）が開設されなかったり、近くに無かつたりと課題が明確になりました。そこで染田地区では、自治会を中心に行政等と協議を行い、独自に**自主避難所**として施設を使用できる覚書を交わすことができました。対象は「**染田公民館**」と「**栃木県立足利南高校**」です。指定避難所が開設されない、あるいは冠水等により避難ができない場合に、自主的な管理の下で避難ができるようになりました。住民が自主的に防災力を強化していく、**自助・共助の理想的な形**ができたことに、関係各位には感謝いたしております。

実現しました

QRコード
▲詳細



毎月実施している街頭演説

新型コロナウイルス対策に関する緊急要望書を提出

2021年1月18日、私が所属する足利市議会会派「万和（ばんな）クラブ」から市長あてに緊急要望書を提出いたしました。2度目の緊急事態宣言発令下、人口当たりの感染者数が多い足利市をはじめとした両毛地区の感染拡大を抑え、市民生活への影響を最小限にすべく8つの要望をまとめました。今回も各分野の専門の方々からアドバイスをいただきながらまとめさせていただきました。複数の会派で要望をしたこともあり、**議会全体として多くの提言を実現**することができました。

【万和クラブ要望項目】

- (1)入院調整中または自宅療養中の市民に対し、配食や衛生物品配布等の生活支援、メンタルケアを目的とした相談窓口の開設等の支援措置を、栃木県と協議し早急に実現すること。▶ **日常生活用品提供と相談事業を開始**
- (2)業務が増大している栃木県安足健康福祉センターに対し現在行っている市職員派遣事業の拡大を講ずること。▶ **派遣拡大**
- (3)急増する入院調整中の自宅療養者のため、市が実情を把握し、その上でホテルや本市所有公共施設等を療養施設とするため、県と協議を進めること。
- (4)両毛地区を形成する群馬県自治体並びに、熊谷市、深谷市等の埼玉県北部自治体と、足並みをそろえた自粛要請や支援制度を整え、綿密な情報交換ができる体制構築を検討すること。
- (5)医療や介護に従事されているエッセンシャルワーカーの方々に対し、市独自の応援給付金制度の創設等の支援を検討すること。▶ **障がい者施設・高齢者施設・保育所等従事者に対し慰労金1万円支給**
- (6)緊急事態宣言の発令により、聴覚障がいをはじめ、障がいをお持ちの市民の行動が一層制限され、行政サービス等の必要とする情報が届きにくい状況が発生している。重要な情報提供の機会を確保する観点から、障がいをお持ちの市民へのタブレット無償貸与とZOOM等での遠隔手話サービスを行えるよう、タブレット操作の講習も含めた対策を検討すること。
- (7)増加する市内感染状況に鑑み、学校をはじめとした職場、地域での差別や人権侵害を防止するための措置を更に推進すること。
- (8)教育機関、幼稚園、保育園、医療、介護施設でのクラスターの発生を未然に防ぐために、定期的に行うPCR検査（費用を抑える為にプール方式などを利用可）に対する検査費用助成を講ずること。
▶ **通所系障がい福祉・高齢者福祉施設職員を対象に抗原検査費用を助成**



令和2年9月議会 一般質問（令和2年9月10日）

市長の政治姿勢について ～足利市総合計画、中橋の架け替え～

【末吉】総合計画に謳われている人口減少対策で結果を出すためには、地域特性を知ることが必要。雇用状況、同居近居等の割合、所得水準等がわかると政策形成の重要な資料となる。また転出・転入のきっかけとなった理由等も貴重な情報である。過去にも提言したが実態調査を進めるべき。

【総合政策部長】自然動態は、次期総合計画策定に伴うアンケートの中で、新たな調査項目も加え実態把握をする。

【末吉】現中橋については歩道自転車道として存続が決ましたが、余剰空間を活用し、キッチンカーやベンチを設置した賑わいの創出、自動運転車両の専用道設置などの新たなまちづくりに寄与する事業展開を検討すべき。

【都市建設部長】新たな空間活用は有効。河川空間や中心市街地での事業と連携して特色あるまちづくりを推進する。

<末吉の主張>

中橋架け替えは夢のある一大事業となり得る。影響を受ける地元への丁寧な説明、具体的なまちづくりビジョンの提示で市民の心を掴む必要がある。

公民連携による空間の利活用 ～河川空間の利活用、道路空間の利活用～

【末吉】本町緑地オープン化により「公園への飲食店等の設置を民間に許可する代わりに公園の管理を委託する事業」が始まる。優秀な民間事業者をどのように見つけ出すのか。

【都市建設部長】夕日の美しい景観や人脈を生かし、サウンドイング調査※1等を行っていく。

【末吉】コロナ対策のひとつとして歩道でのテラス営業等の規制が緩和され占用料が免除された。期間終了後は占用料が個店の負担となるため、継続的な支援が必要。

【都市建設部長】地元の意向を確認し、期間終了後も負担が生じないよう対応していかたい。



<末吉の主張>

公民連携は人口減少の時代に重要な役割を果たす。公共の河川、公園、道路、施設はまだまだそのボテンシャルを活かしきれていない。

▶ 詳しくはホームページの議事録をご覧ください

*1…事業の前段階において民間事業者との対話によりアイデアや意見等を把握する調査。